

朗読サロン 虹の街 第12回

風よ ふるさとの空に 熊谷育美さんとともに



気仙沼在住のシンガーソングライター
熊谷育美さんのお話

鎮魂の歌

・大川小学校の子供たちへ
「飛び立とう青空へ」
・組曲「3・11 鳥よ永遠に」他

詩の朗読

菊田郁朗 田中きわ子 渡辺仁子
虹の街トーク

とき

平成27年

7月20日(祝)

13時30分開演 13時開場

(15時30分終演予定)

ところ

エルパーク6F スタジオホール

仙台市青葉区一番町4丁目11-1 141ビル(仙台三越定禅寺館)

入場料

前売り1,800円(当日2,000円)

■入場券のお求めはFAXかメールで

お名前、ご住所、希望枚数、電話番号をお知らせください。
受付後、入場券を郵送します。代金は後日お振り込みください。

<FAX> 022-347-3647

<メール> roudokusalon@yahoo.co.jp



菊田 郁朗 (きくたいくろう)

宮城県登米市生まれ。
元中学校教員。

2010年、朗読サロン
「虹の街」設立、代表。

* 仙台童謡詩人の会
「おてんとさん」会員
* 仙台文学館 友の会会員

【主催】虹の街 代表 菊田 郁朗 【問い合わせ】090-7663-4102

【後援】仙台市教育委員会・河北新報社 【助成】(公財)仙台市市民文化事業団

ごあんない

朗読サロン 虹の街 菊田 郁朗
石森 浩一
田中 ぎわ子
渡辺 仁子

詩歌の朗読と音楽を発信し、街角に小さな虹をかけようと
スタートした朗読サロン『虹の街』も今年で6年目、12回目を
迎えます。毎回多くのかたにおいで頂き、大変感謝しております。

さて今回は、映画「悼む人」で主題歌『旅路』を歌い話題となってい
る気仙沼市出身の歌手 熊谷育美さんをお迎えし、
「風よ ふるさとの空に」をテーマにお送りいたします。

あの日の震災と津波により、ふるさとの海辺は一変してしまいました。
震災から4年が経過し、沿岸地域も少しずつ生まれ変わろうとしています
が、他方、災害の記憶は歳月の経過と共に次第に風化し、復興にはまだ
まだ時間がかかるように思われます。

今、ふるさとにどんな風が吹いているのでしょうか。

私たちのふるさとである海に想いを寄せながら復興への願いを新たに
したいと考えています。

震災に関する詩の朗読とともに、菊田郁朗の新しい歌・組曲「3. 1
1 鳥よ 永遠に」（作曲：大森愛弓）、大川小学校の子どもたちに贈っ
た「飛び立とう 青空へ」（作曲：和泉耕二）をソプラノ歌手 萩原里香、
ピアノ伴奏 掛田瑠子でお送りします。

みなさまのご来場をお待ちしています。

菊田 郁朗

きくた いくろう

- 1945年. 宮城県登米市生まれ、元中学校教員。
- 2006年. 詩集『風のうたがきこえる』（丸善書店）自費出版
- 2011年. 3.11追悼詩集『沈黙の海』（手作り版）を作成、脚本家
内館牧子氏、落合恵子氏に紹介され全国に支援が広がる
（みやぎ震災遺児基金130万円を超える）
- 2013年. 3.11追悼詩集『沈黙の海』潮出版より発売。
- 2014年. 石巻市立大川小学校の歌『飛び立とう 青空へ』（作曲：和泉耕二）
在校生が慰霊碑の前で合唱（3.10）
*組曲『3.11 鳥よ永遠に』（作曲：大阪教育大学院生 大森愛弓）
*第29回国民文化祭現代詩フェスティバルで『無常の点滅』が日本
詩人クラブ会長賞
- 2015年. 第3回国連防災世界会議仙台開催シンポジウム、トークセッションに出席。

掛田

かくだ ようこ

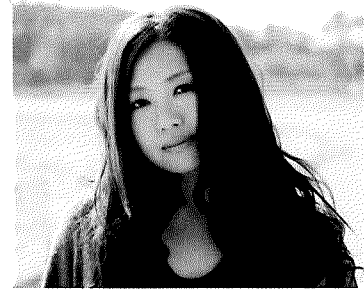
瑠子



掛田瑠子（ピアノ） 宮城教育大学芸術文化専攻卒業。
同大学院音楽教育専修修了。 県内のさまざまな合唱
団の伴奏者として活動。第九やオペラの稽古ピアニス
トも務める。また声楽・管弦楽器の伴奏で様々な演奏
会に出演。 ピアノを越智真弓、鈴木孝子、藤田満喜
子、石川祐介、倉戸テル、声楽を高山圭子、各氏に師
事。

くまがい

熊谷 育美



1985年5月24日、宮城県気仙沼市生まれ、
在住のシンガーソングライター。自然に囲ま
れ暮らすからこそ描ける楽曲の世界は、彼女
の美しい故郷「気仙沼」を映すかのようで
ある。2009年メジャーデビュー。2010年5月、
シングル「月恋歌（げつれんか）」が、映画「劇
場版TRICK・霊能力者バトルロイヤル」の主
題歌に起用され話題になる。2010年7月「み
なと気仙沼大使」、2012年1月には気仙沼市
大島の観光特使「島おとめ」第一号に任命。
4枚目のシングル「雲の遙か」が2011年3月
10日に完成。しかし翌3月11日、未曾有の大
地震と大津波、そして大火災に遭遇。あまり
のことに歌うこともピアノを弾くこともでき
ない日々が続いた。しかし、地元の人たちの
応援もあり、気仙沼の風景を封じ込めてきた
自分の作品をうたい続けることが、自分の役
割と強く感じるようになり音楽活動を再開。
「雲の遙か」は2011年4月にリリースされ、
全国各地から「自分たちにとっての応援歌で
あり心のよりどころになっています」という
多くのメッセージが寄せられた。2015年映
画『悼む人』主題歌『旅路』を書き下ろし
た。現在もふるさと気仙沼を拠点に国内外で
精力的に活動を展開している。

萩原

はぎわら りか

里香



仙台市出身。宮城県宮城第一女子高等学校理数科卒業。
宮城教育大学生涯教育総合課程芸術文化専攻卒業。これ
まで数々のコンサートやイベントに出演、また学校や病
院、福祉施設への訪問演奏など多方面で活動している。
2014年9月、合唱団こだまの定期演奏会ではジョン・ラ
ター作曲『レクイエム』のソプラノソリストを務めた。
現在、演奏活動をしながら小学校や高校、合唱団コー
ル・コスモスのヴォイストレーナーとして指導も行って
いる。